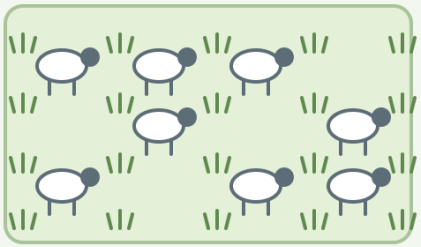
共有の牧草地で起きること

牧草地を共有する人たちが、それぞれ家畜を増やしていくと、牧草地はどうなるか

思考実験

① 4人が2頭ずつ

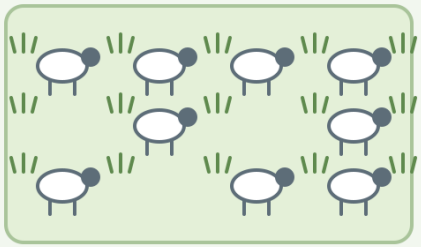


4人 × 2頭 ＝ 8頭

どの家畜にも、
草は十分にある

Aさんの得
牧草地の草

② 1人が1頭増やす

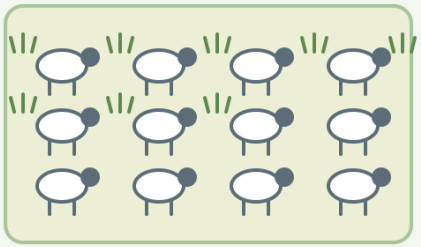


Aさんだけ3頭：計9頭

Aさん：自分だけなら、1頭増やしても大丈夫

Aさんの得
牧草地の草

③ 全員が増やす

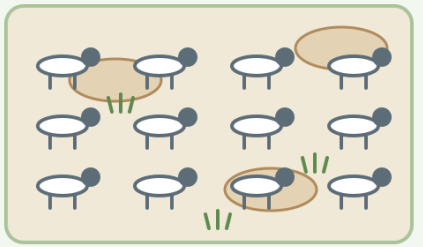


4人 × 3頭 ＝ 12頭

ほかの3人：Aさんが増やしたなら、自分も

Aさんの得
牧草地の草

④ そのまま続けると



12頭が草を食べ続ける

草が育たず、
どの家畜もやせる

Aさんの得
牧草地の草

牧草地を守るための工夫の例

一人一人の判断が、
みんなの牧草地を
損なうのを防ぐには？

- **ア** 話し合って、放牧する頭数のきまりをつくる
- **イ** 見回りをして、約束を破ったときの決まりを決める
- **ウ** 牧草地の手入れを、みんなで分担する

同じ形の現代の例：海の魚の取りすぎ、地球温暖化 など（みんなで使う資源が損なわれる）

※ 思考実験の場面（架空の村）。家畜の数と棒の長さは模式で、実際の量ではない。工夫は例で、よしあしは示さない。